

## 2015年度から2016年度

何が変わった？ あれはどうなった？ そして！？

### 原発再稼働

- 15年 8月 川内原発1号機再稼働
- 15年 10月 川内原発2号機再稼働
- 16年 1~2月 高浜原発3、4号機再稼働
- ⇒16年 3月 大津地裁高浜3、4号機の  
運転差止仮処分決定！



### 安全保障関連法 (15年9月強行採決)

違憲！廃案！の声をよそに 16年3/29 施行

### 子ども子育て支援新制度 (15年4月施行)

待機児童解消？いえいえ、増加！ 取手も保育士不足！

### 介護保険法改訂 (15年4月施行)

要支援者の通所・訪問介護、保険適用外、自治体移管

取手の高齢化率3割。支援が必要な要介護者も増加。でも、取手社協の在宅福祉サービス協力会員(ボランティア)、この2年間で417人から149人に減少。

## ネットの2016年度もスタート!

#### 【活動報告】

- 取手市と近隣市の「見守り事業」調査を行いました。
- 「ひとりひとりに寄り添う地域福祉」をテーマに、介護保険制度から落ち落ちてしまう要介護の現状について、たすけあいワーカーズを招いて学習会を行いました。
- H27年度学校検診心臓検査結果情報開示請求が完了し、結果をHPに公開します。

#### 【総会開催】

第5回とりで生活者ネットワーク通常総会を、3月5日に開催。  
2016年も、暮らしの声、市民の声を市政に届けます。



取手市議会議員  
池田慈 (めぐみ)

## とりで生活者ネットワーク [暮らしのアンケート] 第1次報告

今、安心して暮らしていますか？

取手にお住まいの方に、今の「取手」についてどう感じなのか、アンケートを実施しました

2015年9月~12月実施 回答78名  
一部未記載の方も含むため合計数は一致しません

| 項目              | 悪い | やや悪い | どちらでもない、分らない | やや良い | 良い |
|-----------------|----|------|--------------|------|----|
| ① 保健センターの統合     | 15 | 23   | 21           | 6    | 0  |
| ② 現在の子育て環境、支援施策 | 3  | 11   | 37           | 11   | 2  |
| ③ 取手の学校・教育環境    | 4  | 19   | 31           | 10   | 1  |
| ④ 市内の生活道路、通学道路  | 8  | 18   | 15           | 14   | 1  |
| ⑤ 取手の高齢者福祉      | 4  | 13   | 43           | 4    | 2  |
| ⑥ 取手の障がい者福祉     | 5  | 11   | 42           | 7    | 0  |
| ⑦ 取手の医療環境       | 5  | 22   | 19           | 20   | 3  |
| ⑧ 取手の「アートのみち」施策 | 1  | 8    | 40           | 16   | 0  |
| ⑨ 取手市の活性化施策     | 14 | 18   | 33           | 0    | 0  |
| ⑩ 税金、公共料金       | 15 | 23   | 27           | 1    | 0  |
| ⑪ 取手の防災・減災対策    | 7  | 18   | 26           | 14   | 2  |
| ⑫ コミュニティーバス     | 16 | 21   | 17           | 11   | 1  |
| ⑬ 市内の公共施設       | 5  | 19   | 26           | 15   | 0  |
| ⑭ 放射能等の対策       | 2  | 18   | 29           | 8    | 0  |
| ⑮ 市の広報のしかた      | 2  | 11   | 26           | 24   | 3  |

### 対面アンケート、市民の声から

保健センター統合「良くない」！不便になった！

子育て支援、学校・教育環境の整備は、最優先にして！  
通学路の歩道整備、浸水対策を

何を利用できるのかよくわからない。老後が不安…

アート、もっとアピールして

今の施策では活性化は望めない…本気で取り組んで！

高い、負担！税金の使い方、チェックを！

施設の老朽化、どうにかして！設備・備品もボロボロ！

原発事故から5年。福島では甲状腺がん増加。取手も検診を！あの放射性廃棄物はどこに？



# めぐみ 池田 慈 議会レポート

平成28年3月第1回定例市議会 No.19

子どもも大人も  
住みやすいまちに  
・・・一般質問・・・  
★見守り政策の充実を  
★放課後子どもクラブの  
充実を

## 待機児童ゼロへ！ 子どもたちの権利を守れ！ 子どもの貧困STOP！

先進諸国では、あたりまえに認められている、子どもの保育や幼児教育を受ける権利。でも、わが国では待機児童問題が深刻！取手市でも、平成28年3月末現在の待機児童が9名で、年々増加傾向。施設はあっても保育士が足りず、受け入れができない現状もあります。



保育士不足の根本解決は、待遇改善であり、国の補助金(固定単価)のアップです。国は、対応策として、保育士資格のない人や、幼稚園・小学校教諭も保育所で働けるように規制緩和。しかし、下表を見る限り、効果があるとは思えません。働きやすい環境整備と、仕事に見合った給料設定が急務です。

保育士不足に規制緩和？  
いえいえ、待遇改善でしよ！

保育士という仕事は、子どもの命を預かり心を育む仕事。しかし、大きな賃金格差！

| 平成26年度 平均給料(月) |                |        |
|----------------|----------------|--------|
| 保育士            | 中規模平均(厚労省調査より) | 21.6万円 |
| 幼稚園教諭          | 中規模平均(厚労省調査より) | 22.9万円 |
| 公立小・中学校教諭      | (総務省調査より)      | 36.7万円 |
| 全産業平均          | (厚労省調査より)      | 30.0万円 |

取手市でも平成28年度から、子どもの貧困対策の一つとして「無料塾」が開始。(28年度予算約151万円)月4回、取手市内一か所での実施、対象人数は20名。もう一つの学習支援、要保護・準要保護就学奨励費対象人数は、小学校で450人、中学校で296人です。子どもの学ぶ権利が経済的理由で奪われないための学習支援は無料塾であるならば、予算はもっと必要！

学習支援(無料塾) 予算の充実を！

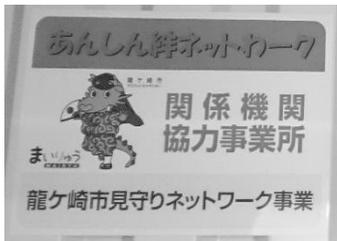


写真2 龍ヶ崎市ステッカー

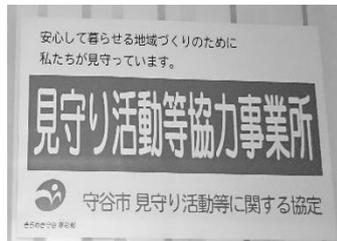


写真1 守谷市ステッカー

市のホームページでの公表や、協力事業所にステッカーを貼り出すことで、見守り事業の拡がりや、市民の安心にもつながります。多くの情報を得るためにも有効な方法です。しかし、取手市では実施しないという回答！

### 資料2 協定後、市が実施したこと

| 実施した内容    | 龍ヶ崎市                            | 守谷市 | 取手市       |
|-----------|---------------------------------|-----|-----------|
| 情報交換会議の開催 | ○3回                             | ○1回 | ×         |
| 通報実績の公表   | H24年 6件<br>H25年 26件<br>H26年 41件 | ×   | ×         |
| 研修の開催     | ○                               | ×   | ×         |
| HP上での公表   | ○                               | ○   | △<br>1社公表 |
| ステッカーの配布  | ○                               | ○   | ×         |
| 協定書の作成    | ○                               | ○   | ○         |

### 資料1 各市と見守り協定を結んでいる事業所数

| 市    | 業種 | 事業所数 |
|------|----|------|
| 取手市  | 4  | 22   |
| 守谷市  | 15 | 33   |
| 龍ヶ崎市 | 24 | 141  |

他市では、情報交換会議や研修を実施している龍ヶ崎市では、通報実績が上がっています。しかし、資料2の実情を見る限り、取手市は、協定をより良く活用する気はないようです。

## 一般質問

「見守り協定」した事業所との連携を！

協定したまま放置していませんか？

取手市は、セブンイレブンや常陽銀行、4つの生協等と「見守り協定」をそれぞれの内容で結んでいます。資料1は、取手市と他市の協定事業所数です。ひとり暮らしの高齢者も増加し、不審者も出没、子どもたちの環境も安心できる現状ではなく、見守り体制の整備は緊急課題です。しかし数も少なく、協定書を取り交わしたままきちんと公表もされていません。せっかくの協力事業所との連携もされず、これでは活用されているとは言えません。より多くの事業所に協定を呼びかけ、協力事業者を増やすとともに、中身の充実も図るべきです。